

<障がいのある方がつくる「まごころ製品」の認知度等について>

【調査の目的】

福岡県では、障がい者施設で働く障がいのある皆さんの収入向上を図るため、障がいのある皆さんがつくる製品や提供しているサービスを「まごころ製品」(※1)と名付けて販売促進に取り組んでいます。

また、「まごころ製品」ロゴマーク(※2)を公募により決定し、「まごころ製品」の販売や提供の際に商品に貼るなどしてPRに利用しています。

しかしながら、「まごころ製品」の認知は進んでおらず、障がいのある皆さんの収入向上に結びついていないことから、皆さんの「まごころ製品」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考としたいと思います。

【活用状況】

アンケート結果を、「まごころ製品」の認知度を向上する施策や、販売機会の提供場所等、効果的に事業を実施するための検討資料として活用します。

(福祉労働部 障がい福祉課)

※1 「まごころ製品」とは

障がいのある人が、まごころを込めてつくる製品や提供しているサービスのことで、パン、お菓子、縫製品、木工品などの製品や、清掃、除草、印刷、クリーニングなどのサービスがあります。

※2 「まごころ製品」ロゴマークとは

「まごころ製品」の一体的なイメージを表したマークです。



<1> 「まごころ製品」という名前を知っていますか。

(N=361 選択は1つのみ)

知っている。	34.1%	(123名)
知らない。	65.9%	(238名)

無回答 0.0% (0名)

<2> 「まごころ製品」ロゴマークを見たことがありますか。

(N=361 選択は1つのみ)

見たことがある。	18.8%	(68名)
見たことがない	81.2%	(293名)

無回答 0.0% (0名)

<3> 「まごころ製品」を購入（利用）したことがありますか。

(N=361 選択は1つのみ)

購入したことがある。	27.1%	(98名)
購入したことはないが、購入したいと思っている。	35.5%	(128名)
購入したことはないし、購入したいとも思わない。	8.0%	(29名)
わからない。	29.4%	(106名)

無回答 0.0% (0名)

<4> 「まごころ製品」を購入（利用）した額はいくらですか。

※ 複数回購入（利用）したことがある場合は、1回当たりの平均購入（利用）額を選んでください。

(回答は、<3>で「購入（利用）したことがある」と答えた方 N=98 選択は1つのみ)

500円未満	41.8%	(41名)
500円以上1,000円未満	38.8%	(38名)
1,000円以上1,500円未満	12.3%	(12名)
1,500円以上2,000円未満	1.0%	(1名)
2,000円以上	5.1%	(5名)

無回答 1.0% (1名)

<5> 「まごころ製品」はどこで購入（利用）しましたか。

※ 複数回購入したことがある場合は、購入した回数の多い場所を選んでください。

(回答は、<3>で「購入（利用）したことがある」と答えた方 N=98

選択は2つまで 回答件数=134)

まごころ製品ショップ（県庁地下1階常設ショップ）	13.3%	(13名)
障がい者施設	39.8%	(39名)
道の駅	27.6%	(27名)
デパート、スーパー	23.5%	(23名)
県庁舎、市区町村役場	14.3%	(14名)
その他	17.3%	(17名)

無回答 1.0% (1名)

[その他(抜粋)]

- ・ 職場への斡旋及び出張販売
- ・ 子育て応援施設
- ・ イベント会場
- ・ 文化・スポーツセンター
- ・ 病院

〈6〉 「まごころ製品」がもっと認知され、購入されるためには、どのような場所で販売されてあると良いか、また、どのような取組があると良いか、記入してください。

〔「まごころ製品」の認知・販売促進に対するご意見(要約・抜粋)〕

○ 販売場所に関するご意見

- ・スーパーマーケット、ドラッグストア等【類似回答88件】
- ・コンビニエンスストア【類似回答38件】
- ・お祭り・フリーマーケット等のイベント【類似回答35件】
- ・地域の商業施設（デパート、ショッピングモール等）【類似回答31件】
- ・公共交通機関（空港、駅等）【類似回答25件】
- ・道の駅【類似回答25件】
- ・公共施設（県庁舎、市役所、公民館、公園等）【類似回答24件】
- ・インターネットによる通信販売【類似回答11件】
- ・人が密集する繁華街（天神・博多等）等【類似回答7件】
- ・職場・学校等の売店【類似回答4件】
- ・医療機関（病院・薬局等）【類似回答3件】
- ・商品の種類に応じた専門店【類似回答3件】
- ・高速道路のサービスエリア【類似回答3件】
- ・銀行【類似回答2件】
- ・直産市場【類似回答2件】
- ・セレクトショップ【類似回答2件】
- ・郵便局
- ・ホテル
- ・競馬場、競輪場、競艇場
- ・生活協同組合
- ・農業協同組合
- ・物産館
- ・アンテナショップ
- ・障がい者福祉会館
- ・子育て支援センター

○ 取組に関するご意見

- ・テレビ、インターネット、新聞等のメディアの利用【類似回答25件】
- ・市報等への掲載や公共施設・交通機関へのポスター掲示【類似回答15件】
- ・大規模な商業施設等におけるイベント等の実施【類似回答13件】
- ・イベント（お祭り、コンサート等）等への積極的な出店【類似回答8件】
- ・スーパーマーケット等を拠点としたPR【類似回答4件】
- ・公共施設等での定期的な出張販売やPR【類似回答5件】
- ・「まごころ製品」を強調して区別（PR）せず、他の一般商品と並列して販売【類似回答8件】
- ・「まごころ製品」の売上がどのように配分されるかを明確化することにより、障がいの

ある人のためになっていることを伝わりやすくする。【類似回答2件】

- ・民間企業等に勤務する職員に向けた紹介及び斡旋販売【類似回答2件】
- ・購入場所及び購入時期の拡大【類似回答2件】
- ・小中高等学校で教育の一環として、授業に取り入れる【類似回答2件】
- ・「まごころ製品」であること以外の商品付加価値（安価、良品質等）を付けPR【類似回答2件】
- ・有名人の起用によるPR
- ・チラシ配りによるPR
- ・パラリンピックとの連携による販売・PR
- ・特別支援学校のイベント内での販売
- ・有力店とのコラボレーション
- ・一般的なマルシェに「まごころ製品」のお店を混ぜて、スタンプラリー等を実施
- ・小・中学校を通じて生徒及び保護者へのチラシ配布
- ・強化週間、強化月間のようなものを設ける。
- ・紹介する情報を発信する機会を多くする。
- ・高校や大学、専門学校に赴き、当事者が販売することで学生に興味を持ってもらう
- ・冊子を作り配布、ブロック毎に冊子を作る。
- ・「まごころ製品」を前面に出し、店頭販売する。
- ・「まごころ製品」ロゴマークの周知
- ・補助金を交付しての無料販売
- ・ふるさと納税の返礼品として活用
- ・県が働きかけて、もう少し誰でも簡単に購入できるシステムを作って欲しい。
- ・集客力のある店舗の開発・立地条件・利益率の向上
- ・プレミアム商品券等を利用すると額面以上の更なる特典が得られるようにする。
- ・ブランド化して売り方、作り方を分離して合理的に販売された方がいい
- ・出張販売等における会計処理の迅速化
- ・障がいのある人のモノ作りの環境づくり
- ・あらゆるイベント（公私を問わず）に「まごころ製品」販売をする場所を確保することを義務化
- ・「まごころ製品」であることを隠して一般の製品と同等に販売し、レジで精算するときレシートに商品名（写真）入りで説明を渡す。
- ・福岡の「まごころ製品」を買ってツイッターで宣伝してくれた有名人を勝手に表彰して表彰式に招待すれば、タダで有名人が呼べて、マスコミに報道してもらえる可能性がある。
- ・悪徳業者がいて、障がいのある人の利益を奪っているという報道がある。そんな悪徳業者が関与できないよう公共団体の管轄で進めてほしい。
- ・購入はしたことはないが、他県の知人から障がい者福祉施設でつくったイラスト入り巾着をもらって嬉しかったことがある。個性を活かした商品で、なかなか真似できないものだと思った。作家さんの出店するマーケットなどで出されてみてはどうかと思った。

○ 製品に関するご意見

- ・安価かつ実用性、美味しさ、安全性があることをPR【類似回答5件】
- ・生産行程や素材等を紹介し、ものの価値を正確に伝える。【類似回答3件】
- ・まず見た目がおしゃれな商品作りを目指して欲しい。【類似回答2件】
- ・商品ネーミングの見直し
- ・「まごころ製品」であることがわかりやすいパッケージにする。
- ・まごころは生産者すべてにあると思うので別の名称が良いと思う。
- ・より多くの人に手が届くようにもう少し低価格であると良い。
- ・普段利用する施設に既製品よりももっと良い品で割安であれば買いたいと思うものがあれば、ロゴマークの有無にかかわらず購入すると思う。
- ・鹿児島県のしょうぶ園を参考にすると良い。
- ・「まごころ製品」という形で、同情を求めるような製品販売のコンセプトはどうかと思う。むしろ障がいのない人と同じフィールドでの開発を目指すべきではないか。「自立」のように。
- ・品としての質をあげたり、アウトサイダーアートのカテゴリーを飛び越えるような、例えば国見の中野マーク周作さんのように良いアート作品を生み出していくことだろうと思う。

○ 其他のご意見

- ・障がい者専門のショップにわざわざ行かない。
- ・わからない、意見なし【類似回答3件】

<7> 芋焼酎「自立」(※3)を知っていますか、また、購入したことはありますか。

※3 芋焼酎「自立」とは

障がいのある皆さんがまごころを込めて栽培したさつま芋(ジョイホワイト)を原料に、酒造会社の協力を得て、福岡県と県内9つの障がい者施設が共同で開発した芋焼酎。

(N=361 選択は1つのみ)

購入したことがある。	4.2%	(15名)
知っているが、購入したことはない。	9.4%	(34名)
知らないし、購入したこともない。	86.4%	(312名)

無回答 0.0% (0名)

<8> 「まごころ製品」についてこれまでの設問以外に意見がありますか。

(N=361 選択は1つのみ)

ある	14.1%	(51名)
特にない	85.9%	(310名)

〔「まごころ製品」に対するご意見〕

○ 販売促進・認知度向上等に関するご意見【31件】

- ・まごころ製品というものがあると知っている人は限られている。うちのように家族内にそういった人がいない家庭は知る機会さえない。障がいに対しての理解を深めるため、障がいの人たちの収入を増やす工夫として、大きなエクスポまではいかないけれど、駅前などでの青空市のように、大勢の人に知ってもらおうきっかけが必要だと思う。
- ・障がい者施設等で色んな物を製作しているのは知っているがブランド品が有る事や販売場所は知らない。
- ・芋焼酎は全く知らなかった。せっかくの商品なのに PR 不足を感じる。
- ・どんどんコンビニにも売って見たらよい。今のコンビニは老人もたくさん利用している。かえて老人などが多く利用している。個食の必要性があるのは、若者よりも老人が需要あり。いろいろなものをコンビニに置かせてもらってはどうか。
- ・もっと PR でき、認知度があがるといいなと思う。
- ・「購入していないししたいと思わない」と回答した理由は、私自身収入が少なく、買い物自体を極端に抑制する生活を続けているため。そのため、あまり買い物をする機会が少なく「まごころ製品」のことも知らなかった。このほか、ひとくちに「障がい者」と言っても様々。行政機関においても精神発達障がい者を適切に雇用するなどの方向からの障がい福祉も忘れずに。
- ・まごころ製品だということがわかりにくい。だけど自立などのネーミングを含め、障がい者施設の商品だということを商品の売りにしては「美味しくないだろうけど、支援のために購入しよう」という人しか買わないと思う。せっかくお菓子など美味しいのだから商品自体の宣伝をした方がいい。プリンなど美味しいだけに商品がもっていない。
- ・障がいのある人の自立支援として取組自体は大変いいと思うが、広く認知され、理解が普及しないと実効性が乏しくなる。例えば問 19 の芋焼酎を購入できるのは成人の飲酒者に限られる。自分は飲酒をほとんどしないのであまり関心も持てない。通常的生活で使用される一般的な消費財を主力に取り組みむほうが認知の面でも望ましく思われる。
- ・PR ビデオや頑張る人みたいな短時間のドキュメントを作成し、宣伝してもいいのではないか。
- ・福岡県がもっと力を入れて宣伝をすればよい。
- ・「まごころ製品」がどこで取り扱われているか全く知らなかった。もっとデパートやスーパーに卸すことは難しいのか。出張イベントも積極的に開催してほしい。
- ・見かけたら購入しようと思っているが、なかなか見かけないので、定期的にスーパーの店先などで販売してもらえたら購入しやすい。
- ・スーパーに小さくてもいいので、まごころ製品のコーナーがあるお店が増える事を願う。
- ・もっと情報を発信すべきである。

- ・申し訳ないくらいに まごころ製品の事を知らなかった。テレビ等で積極的に紹介して欲しい。
- ・せっかく良い品なので、もっと表に出して発信すべき。
- ・ほとんど知らなかったことばかり。広報活動が必要
- ・宣伝次第で売れると思う。理由は作り方が丁寧であり、添加物なども入っていない安全なものである。
- ・スタンプラリーアプリなどあるので、(大分市が食育イベントを開いているときエリア内でウォークラリーを開いていた。アプリでスタンプを貯めるとお肉とかの抽選に参加できる。) まごころ製品のお店にチェックインするとスタンプがもらえるとかあるとゲーム感覚で探せそう。
- ・パンの販売をよく目にするが衛生上問題ないのか気になり購入には至らない。衛生に気を付けているということの販売時に表記してあれば安心して購入できると思う。
- ・身近にあれば購入する。例年、北九州市社会福祉大会で出品される商品は、楽しみにしている。
- ・障がい者雇用が問題になっているのだから、彼らの生産した商品製品を多くの小売業に協力させて販売ルートを開発すべき。
- ・自立という名前がどうかと思う。あまりにも考えを前面に出し過ぎていると感じる。
- ・時代の変遷の中で、まごころ製品も昔ながらの商品を生産しつつ、さらなる新商品開発に取り組んでいくべき
- ・個人店のような店だと一般人にはなかなか入りづらいものがある。ぜひスーパー等にも置いてほしい。
- ・石鹸やパンを昔ながらとすれば、上記のような芋焼酎「自立」は今風らしい商品。あとは障がいのある人の才能を生かした、アート作品なども一風目をひいてチャレンジしてみる価値はあると思う。
- ・会社勤めのときは、訪問販売をよく見かけた。
- ・県内の事業所に、巡回で回ってはどうか。
- ・まごころ製品の認知を広める。
- ・本当に良い商品ばかりなので、もっと宣伝してほしい。
- ・県は色々主催したり協賛したりしているようだが、なんとなく県民に周知されていないと思う。
- ・どうやったらもっと売れるか、自治体のせいだけでなく、障がい者施設ももっと考え売れる努力をすべきである。売れなければ、ネット販売するか、ふるさと納税につなげるなど、自治体はあくまでも自治体で頑張っているのだから以降は、サポートはする必要はないと思う。障害者総合自立支援法になり、さらなる企業努力は必要。

○ 「まごころ製品という名称・分類に関するご意見【8件】

- ・「まごころ製品」という名称は、まごころを込めることへの同調圧力がかかっている感じがして、個人的にはしっくりこない。
- ・国は障がい者の差別を無くせと言っているのに、それをアピールするのはちょっと理

解できない。障がいのない人が作った製品と障がいのある人が作った製品に何の違いもないので、アピールすること自体おかしいのではないかと思う。

- ・『障がい者が作っている』というアピールは必要なことなのかが分からない。便利なものを作っていたり、きちんとしたものを作っているのだから、欲しい人は買うだろう。誰が作っていても欲しいから買う。必要だから買う。ではだめなのか。「障がい者の作ったものを買ってもらおう」「障がい者が作ったものを買ってあげた」という気持ちなのか。
- ・「障がいのある人が作りました」ということにずっと違和感がある。良い商品は誰が作ったか関係なく買う。障がい者が作ったからといって売値を低くするのはいかがなものかと思う。この商品にこの値段は安すぎる！と思うことが多い。どれもとても丁寧に作られているので商品の仕上がりは綺麗だし、パンも美味しい。昔と違ってクオリティの高い物なので適正価格で売って良いと思う。
- ・障がいのある人が頑張る作るのは素晴らしいがまごころの名称とは違和感を感じる。
- ・商品価値が同等なら、一般の商品と並べると良い。特別扱いしてまごころ製品といわないほうが良い。
- ・障がいのある人が弱者のように、障がいのある人がつくとまごころがあるといった間違ったとらえかたをするようなネーミングがどうかと思う。
- ・まごころ製品というネーミングで損をしている気もする。気づいたら障がいのある人の製品だったくらいのアプローチの方が買いやすい。障がいのある人の自信にもつながり自立に近づく気もする。

○ 行政の取組等に関するご意見【6件】

- ・精神障がいがあり、障がい者就労支援施設に通所している。まごころ製品のことを認知してもらっただけではなく、まごころ製品を製作している障がいのある人が収入を得られるようにしてほしい。
- ・県の事業予算で 実績の有る高齢者を雇い障がい者施設の営業活動、販路開発を指導、支援する。
- ・まごころ製品の認知度アップや拡販に繋げるのであればやはり民間企業の協力は必須。行政の尽力を願う。
- ・利益の還元。積極的な指導。(施設側に対して) 仕事の提供。
- ・まごころ製品を作る側の経営が経営不振によって倒産したことによって障がいのある人が失業して困っていると聞いたので、経営について持続的な経営ができるように考えてほしい。
- ・もっと力を入れてもいいのではないかと。うまくやれば商業ベースに乗ると思う。

○ その他のご意見【5件】

- ・以前城南区役所で販売されていたが今は販売されていないのか？10年以上前に置物などを販売していた記憶がある。
- ・何処で売っているか？
- ・何かありそうだが今具体的にはまとまっていない。製品の分野によってもやり方がち

がうとおもわれるし。

- 会社で障がいのある人が作ったケーキを毎年斡旋してくれるので、それを購入させてもらっている。
- 障がいのある人が作っているから人件費が安くすむとかは考えないで単純作業の中でも障がいのある人ならではのこだわりの作業をもっと技術と捉え、賃金の安定化を図り、仕事の重要さを教えて、生き甲斐を見つけて欲しい。

○ 回答欄未記入【1件】